

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】

「上村修一のキセキ」 上村嘉壽子

期 間:9月19日(水)~30日(日)

これまで何度も死の淵から奇跡の復活を遂げてきた上村修一。魂の発露と軌跡のマーカーペン画遺作展です。

【ギャラリー】

「彩の会絵画展」 首藤文生

同好の者たちが集い、日常の風景や静物などを講師の指導を受け描いた作品です。拙い作品ですがご高覧頂ければ幸いです。

期 間:9月4日(火)~17日(月祝)

写真や絵画などを展示しませんか。

わいふ一番館ではギャラリーに作品を出展する人を募集しています。詳しくはわいふ一番館までお尋ねください。

開館時間 午前9時~午後5時

※休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)9月17日は開館

農村に対するイメージは良い印象が強く、関心も高いようです。菊池には、都市部の人々を呼び込むための多くのヒントが隠れているのかもしれない。



美しい風景を見ながら一休み

都市農山漁村活性化機構が行った調査では、都市部の人が求めていることとして「朝市・農産物直売所で買い物をする」「郷土料理のレストランで食事する」などが過半数を占め、全体的に女性の関心度が高い結果となっています。体験については「食品づくり体験」「森林散策などの自然体験」「景観の美しい場所でのんびりする」などの要望が高く、中には具体的な要望もありました。

農村地域に求められるもの

グリーンツーリズムを推進するためには、都市部の人が農村地域に求めるものを知ることが欠かせません。

交流の絆 ~姉妹友好都市通信~ ⑤

問い合わせ先 市長公室 ☎0968(25)7252

遠野市の郷土芸能が大集結!

日本のふるさと 遠野まつり~神々が宿る幻想の世界~

毎年9月中旬に開催される遠野まつり。神楽、太神楽、田植え踊り、南部ばやし、しし踊りやさんさ踊りなど、市内の各地区に受け継がれるさまざまな郷土芸能が集まり、市街地をパレードする遠野市最大の祭りです。色鮮やかな衣装の舞や勇壮優雅な踊りが次々と披露される様子はまさに圧巻で、会場は多くの見物客でにぎわいます。

今年は、本市と遠野市の共通の姉妹・友好都市である西米良村の神楽も出演予定で、例年に増して盛大な祭りとなりそうです。



しし踊り

遠野まつり

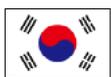
と き:9月15日(土)、16日(日)

と ころ:遠野市街地、遠野郷八幡宮

内 容:郷土芸能パレード、しし踊り、大群舞、遠野南部流鍋馬

ふるさと「緑の便り」
菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先
きくちふるさと水源交流館
☎0968(27)0102



韓国発見シリーズ⑥
ほんにちは金です



韓国の情、日本の和、中国の関係

駐日大使館1等書記官として勤務していたある外交官の、引退後に書いた日・中・韓の民族性に関する記事が興味深い。筆者は3国の情緒的特質を最も象徴的に表す漢字として、中国は「関係」、韓国は「情」、日本は「和」を挙げた。それぞれの長短所に関して次のように説明する。

中国の「関係」は、「互いに関心を持ち、気遣い合うこと」の意味が強い。中国で関係が形成されるということは、互いに関心を持つ、つまり思いやる間柄になるということだ。これは逆に言えば、関係がなければお互いに関心を持たないということだ。中国での無関心は「興味がない」を超えて「私には君を思いやる心がない」を意味する。

韓国の「情」(一つの事に深く気持ちや寄り添わせて愛情を込める心)は、分かち合いの心である。「区別して切る」より「分け合ひ」に価値を置く。したがって韓国では「分け合ってつなぐ」ことが人として道理があると評価される。しかし、逆に言えば、温情主義になり、公私の境界線は時にぼやける。

日本の「和」は、決まった規則に従順で、忍耐することを第一の徳とする。「和」は丸く、亀裂がないことを意味する。そのため、和からはみ出さないことを社会の根幹にしている。これは逆に言えば、不和を引き起こす者は、是非に関係なく、裏切り者と非難され排斥されることを意味する。

筆者は3国の理想的な姿として、「相互交流と理解が進展し、お互いに関係を結ぶが、関係がなくなっても関心を持ち、情を分け合うが、結ぶことも、切ることも明らかで、規則に従って円満に過ごすもの、より根本的な価値を追求する未来を夢見る」と語った。

アジア諸国の中でも近くにある3国だが、国民性や考え方で見ると大きな違いがある。違いに注意を向けると距離を感じるが、願いは皆同じで平和で穏やかな生活ではないだろうか。

関係も情も和もそれぞれ温かい意味がある漢字だと思う。相互交流や情報を共有し、和やかな良い関係が築かれることを願う。